

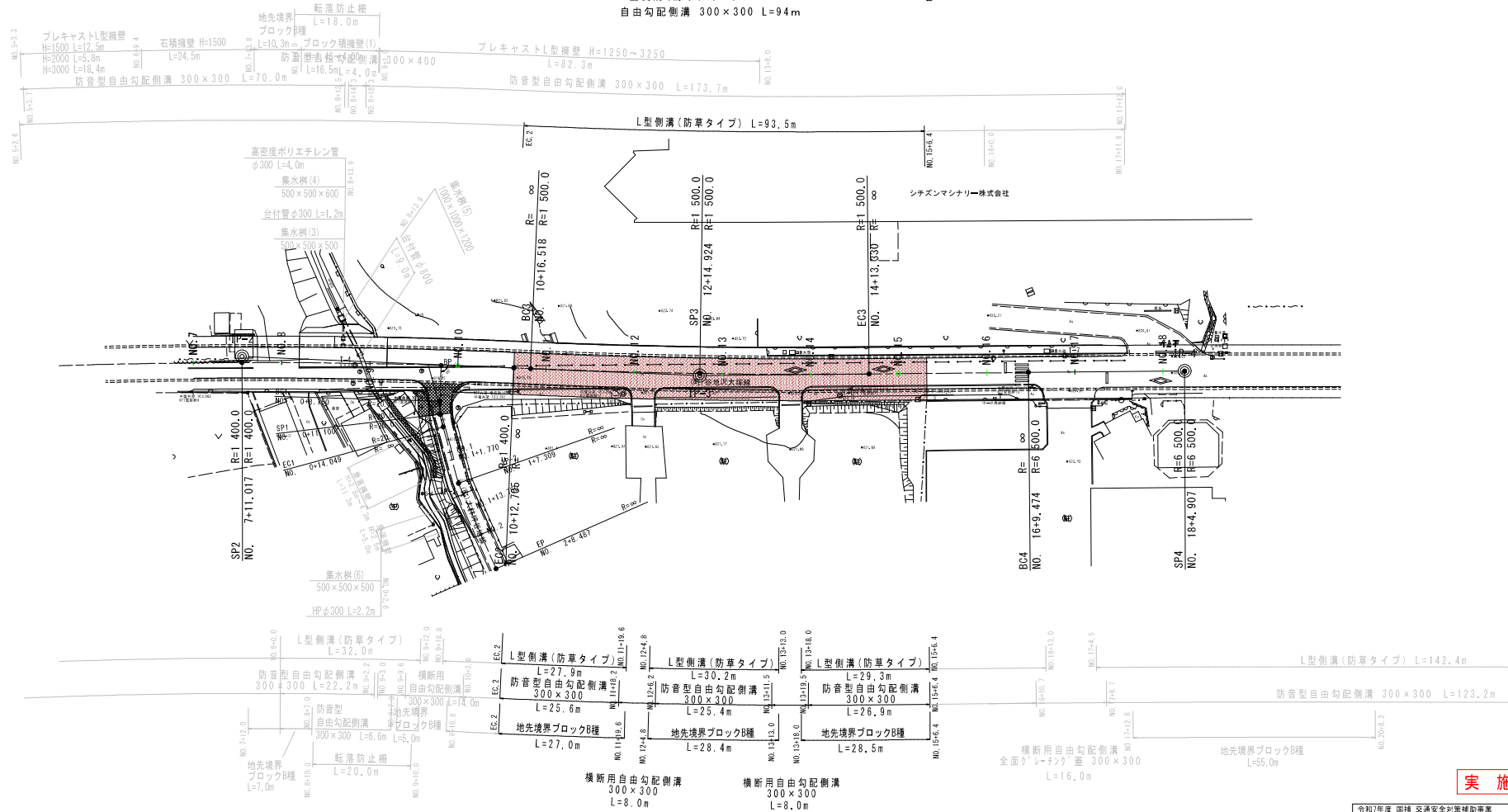
平面図

町道 谷地沢大塚線 北佐久郡御代田町児玉 大林

A1:1/500
A3:1/1000

令和7年度 国補 交通安全対策補助事業
谷地沢大塚線(3工区)道路改良工事
道路改良工 L=93.7m W=6.0(12.0)m

車道舗装 L=93.7m W=7.1m A=615m²
L型側溝(防草タイプ) L=181m
自由勾配側溝 300×300 L=94m



実施図

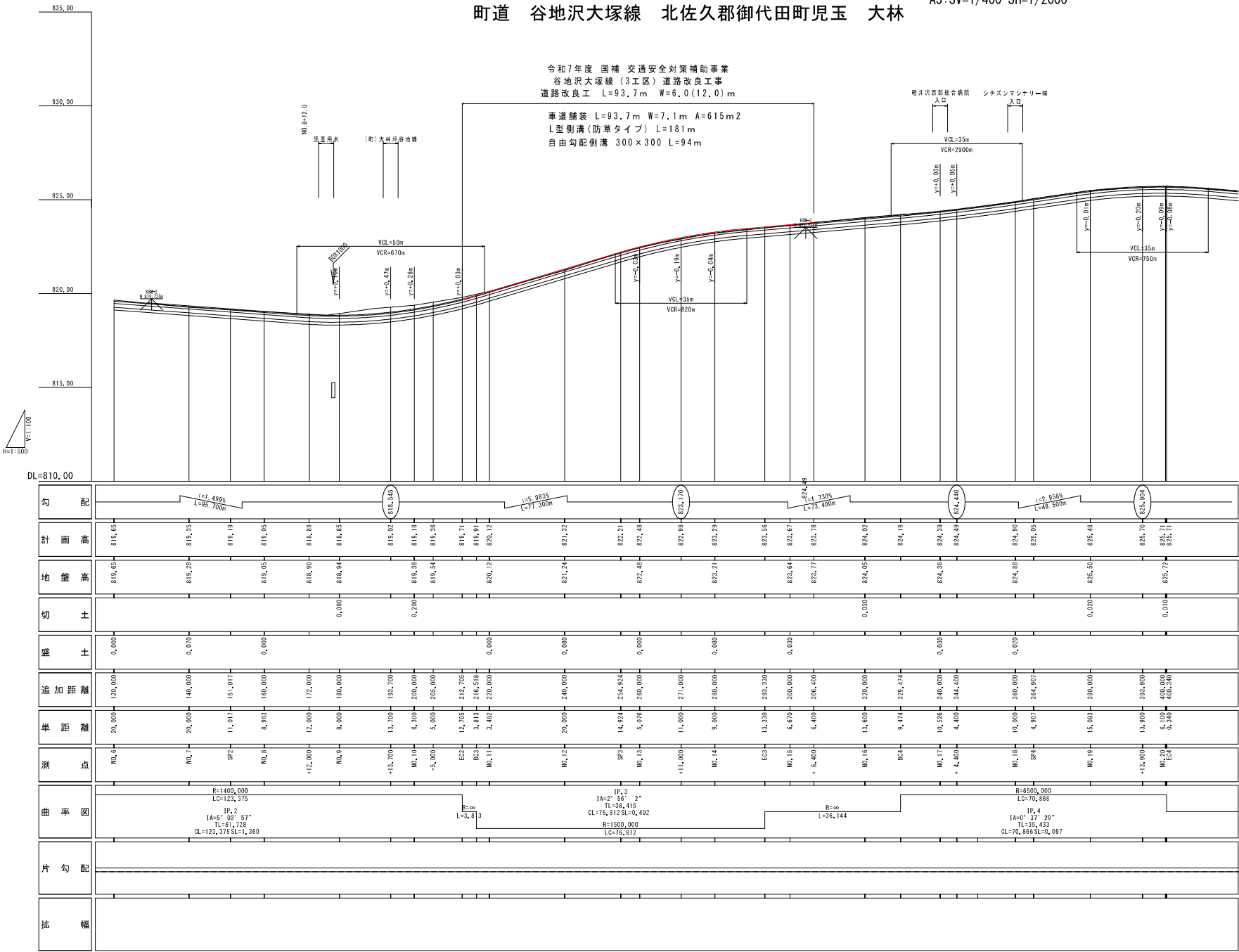
点名	Y座標	Y座標	備考
御基1-223	34559.578	1543.978	※直線水準
御基3-339	34761.506	1076.357	※直線水準
1-1	34772.795	1092.836	※直線水準
1-2	34751.954	1140.116	※直線水準
1-3	34732.037	1194.040	※直線水準
1-4	34706.866	1241.761	※直線水準
1-5	34676.413	1294.217	※直線水準
1-6	34657.299	1338.543	※直線水準
1-7	34644.537	1385.515	※直線水準
1-8	34615.308	1430.998	※直線水準
1-9	34597.693	1489.861	※直線水準

令和7年度 国補 交通安全対策補助事業 谷地沢大塚線(3工区)道路改良工事			
図号	1/9	平面図	縮尺 図示
町道 谷地沢大塚線			
北佐久郡御代田町大字児玉 大林			
町長	小園 長	金井 孝	町 長 森 泉
御 代 田 町		管理技師者	
設計会社	日測設計株式会社	調査技師者	
測量会社	日測設計株式会社	主任技師者	
調査会社		主任技師者	

縦断図

町道 谷地沢大塚線 北佐久郡御代田町児玉 大林

A1:SV=1/200 SH=1/1000
A3:SV=1/400 SH=1/2000



実施図

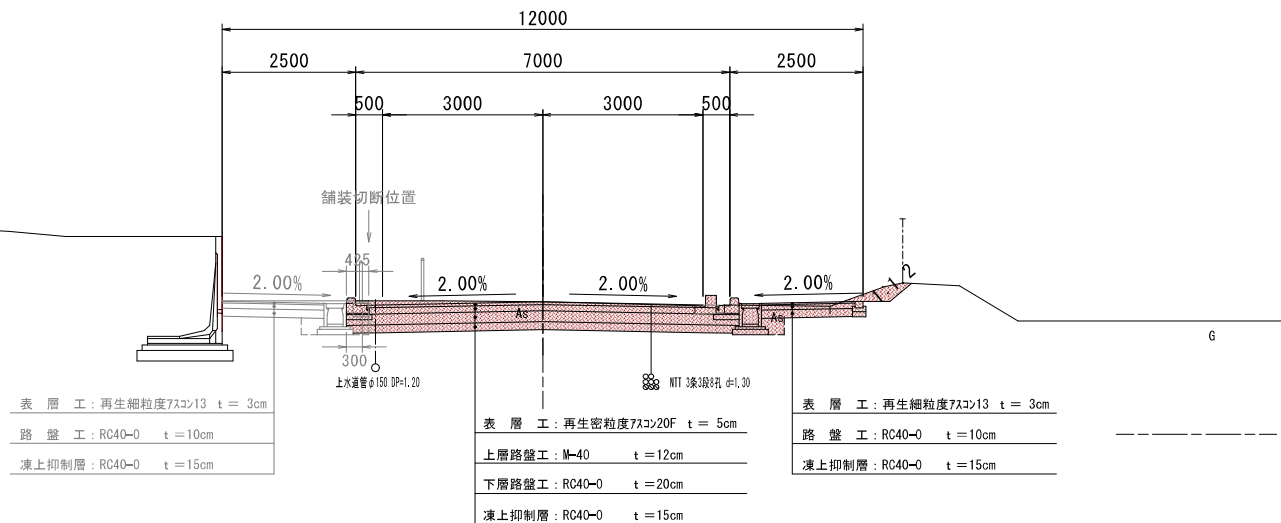
令和7年度 国補 交通安全対策補助事業 谷地沢大塚線 (3工区) 道路改良工事			
番号	2/9	縦断図	図示
町道 谷地沢大塚線			
北佐久郡御代田町大字児玉 大林			
町長	小園	副町長	金井
町議	栗田	町議	森田
御代田町			
設計会社	日測設計株式会社	管理技師	
測量会社	日測設計株式会社	測量技師	
調査会社	日測設計株式会社	主任技師	
調査会社		主任技師	

標準横断図

A1:1/50
A3:1/100

NO. 13

GH=822.48
FH=822.48



DL=820.00

設 計 諸 元 表					
構造規格	3種3級	⑤	交 通 量	現況交通量 2,942台/日	
巾員構成	2.50+0.50+3.00+ 3.00+0.50+2.50=12.0m			計画交通量 2,303台/日	
設計速度	40	km/h	工 種	道路改良	
最小半径	120	m	縦断勾配	5.6%	
勾 配	縦断 2.00~4.0% 横断 -0.5~-4.0%	現	巾 員	(車道)6.0m (歩道)1.5m	
地 質		現	路 面	アスファルト舗装	
舗 装 厚 決 定 根 拠 舗 装 設 計 施 工 指 針					
(1)10年間に於ける平均の大型車 1日1方向交通量			141台/日・1方向 (H4交通)		(2)信頼度 90%
(3)各測定のCBR値			H ₀ 1 19.9	H ₀ 2 22.2	H ₀ 3 8.6
(4)設計CBR値			8.0%	(5)理論最大凍結深さ 73 cm	
(6)将来舗装計画			施工年度 年		
(7)舗装厚 盛土区間			(8)舗装厚 切土区間		
設計CBR値より T A目標値 14 cm			設計CBR値より T A目標値 14 cm		
凍結深さより 73×0.7=52cm			凍結深さより 73×0.7=52cm		
表 層 工 5.0×1.0=5.00cm			表 層 工 5.0×1.0=5.00cm		
上層路盤工 12.0×0.35=4.20cm			上層路盤工 12.0×0.35=4.20cm		
下層路盤工 20.0×0.25=5.00cm			下層路盤工 20.0×0.25=5.00cm		
計 37.0cm =14.20cm			計 37.0cm =14.20cm		
置 換 層			置 換 層		
凍上抑制層 15.0cm			凍上抑制層 15.0cm		
合 計 52.0cm			合 計 52.0cm		

凍結深さの検討

計画区間の凍結指数は、既知地点の10年標準凍結指数をもとに標高補正後の凍結指数を求める。
(舗装設計便覧 (H18.2) P279)

標高補正後の凍結指数=既知点凍結指数±0.5×凍結期間 (日)
× [その地点の標高 (m)-既知地点の標高 (m)] ÷ 100

既知点: 峠井沢 凍結指数 370 凍結期間 103
既知地点の標高= 999.1 m
その地点の標高= 826 m
F= 370 + 0.5 × 103 × (826 - 999.1) ÷ 100 = 280.9 (℃・日)

凍結指数と凍結深さの関係より (舗装設計便覧 (H18.2) P75面~6.2.3)

理論最大凍結深さ H= 73 cm

凍結深さによる置換深さは、理論最大凍結深さの70%とする。(舗装設計便覧 (H18.2) P74)

置換深さ H = 73 cm × 70 % = 51.1≒ 52 cm

実施図

令和7年度 国庫 交通安全対策補助事業 各地元大規模 (3工区) 道路改良工事					
番号	3/9	標準横断図	縮尺	図示	
町道 谷地沢大塚線					
北佐久郡御代田大字児玉 大林					
町長	小園	課長	金井	副課長	森原
御代田町					
設計会社	日測設計株式会社	管理技術者			
測量会社	日測設計株式会社	調査技術者			
調査会社	日測設計株式会社	主任技術者			

横断図 (1)

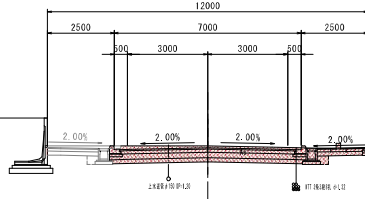
A1 S=1:100
A3 S=1:200

EC. 2 (起点)

GH=819.79
FH=819.71

道路土工	排水構造物工	擁壁工	緑石工
C1= 4.9	D1= -	D1= 2.3	D1= -
B1= -	D2= 0.4	D2= 2.9	D2= -
L1= -	R1= 0.1	R1= 3.8	R1= -
L2= -	L1= 0.7	L1= 1.6	L1= 0.3
W1= 7.1			
W2= 1.3			
R1= -			

DL=820.00

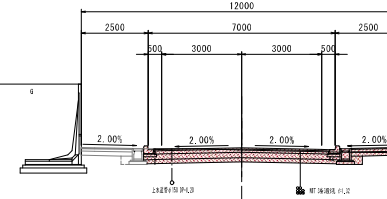


N0. 12

GH=821.24
FH=821.32

道路土工	排水構造物工	擁壁工	緑石工
C1= 3.7	D1= -	D1= 3.1	D1= -
B1= -	D2= 0.4	D2= 5.2	D2= -
L1= -	R1= 0.1	R1= 9.8	R1= -
L2= -	L1= 0.7	L1= 1.8	L1= 0.3
W1= 7.1			
W2= 1.3			
R1= 0.1			

DL=820.00

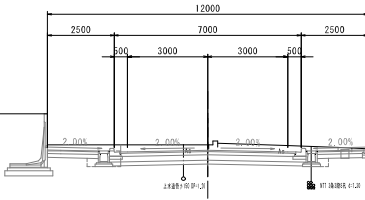


N0. 10

GH=819.38
FH=819.18

道路土工	排水構造物工	擁壁工	緑石工
C1= 1.1	D1= -	D1= 2.5	D1= -
B1= -	D2= 0.6	D2= 4.8	D2= -
L1= -	R1= 0.4	R1= 4.8	R1= -
L2= -	L1= 0.7	L1= 1.8	L1= 0.3
W1= -			
W2= 1.5			
R1= -			

DL=820.00

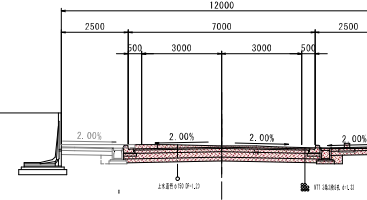


BC. 3

GH=819.96
FH=819.91

道路土工	排水構造物工	擁壁工	緑石工
C1= 4.8	D1= -	D1= 2.7	D1= -
B1= -	D2= 0.4	D2= 2.2	D2= -
L1= -	R1= 0.1	R1= 7.0	R1= -
L2= -	L1= 0.7	L1= 1.8	L1= 0.3
W1= 7.1			
W2= 1.3			
R1= -			

DL=820.00



道路土工	排水構造物工	擁壁工	緑石工
C1= 掘 削	D1= 床 堀	D1= 床 堀	D1= 床 堀
B1= 路床盛土	D2= 床 堀(掘削)	D2= 床 堀(掘削)	D2= 床 堀(掘削)
L1= 切土法面整形	R1= 埋戻し	R1= 埋戻し	R1= 埋戻し
L2= 盛土法面整形	L1= 基面整正	L1= 基面整正	L1= 基面整正
W1= 車道不陸整正			
W2= 歩道不陸整正			
R1= 路肩盛土			

※ 上水道管・下水道管・ガス管等の地下埋設管の
位置・管種については、埋設管理者より貸与の
管理図を基に推定位置を記載したものである。

実施図

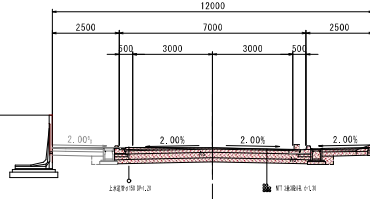
令和7年度 国庫 交通安全対策整備事業 谷地沢大塚線 (3工区) 道路改良工事			
番号	4/9	横断図 (1)	縮尺 図示
町道 谷地沢大塚線			
北佐久郡御代田大字児玉 大林			
町長	小園 長	金井 秀 場 原 計 森 泉	
御 代 田 町			
設計会社	日測設計株式会社	管理技術者	
調査会社	日測設計株式会社	調査技術者	
測量会社	日測設計株式会社	主任技術者	
調査会社		主任技術者	

横断図 (2)

A1 S=1:100
A3 S=1:200

NO. 13
GH=822.48
FH=822.48

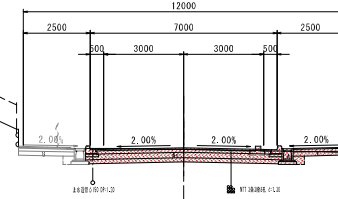
道路土工	排水構造物工	擁壁工	縁石工
C1= 4.5 B1= - L1= 0.5 L2= - W1= 7.1 W2= 1.3 R1= -	D1= - D2= 0.4 R1= 0.1 L1= 0.7	D1= 2.9 D2= 4.2 R1= 4.7 L1= 1.8	D1= - D2= - R1= - L1= 0.3



DL=820.00

EC. 3
GH=823.50
FH=823.56

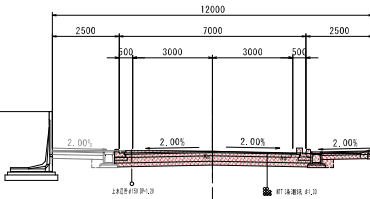
道路土工	排水構造物工	擁壁工	縁石工
C1= 3.8 B1= - L1= - L2= 0.6 W1= 7.1 W2= 1.3 R1= 0.2	D1= - D2= 0.4 R1= 0.1 L1= 0.7	D1= - D2= - R1= - L1= -	D1= - D2= - R1= - L1= 0.3



DL=825.00

SP. 3
GH=822.21
FH=822.21

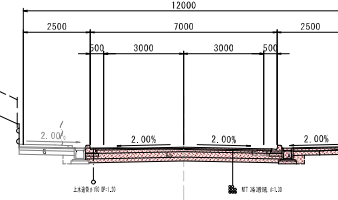
道路土工	排水構造物工	擁壁工	縁石工
C1= 4.6 B1= - L1= 0.8 L2= - W1= 7.1 W2= 1.3 R1= -	D1= - D2= 0.4 R1= 0.1 L1= 0.7	D1= 3.0 D2= 4.0 R1= 5.6 L1= 2.0	D1= - D2= - R1= - L1= 0.3



DL=820.00

NO. 14
GH=823.21
FH=823.28

道路土工	排水構造物工	擁壁工	縁石工
C1= 3.7 B1= - L1= - L2= 0.2 W1= 7.1 W2= 1.3 R1= 0.1	D1= - D2= 0.4 R1= 0.1 L1= 0.7	D1= - D2= - R1= - L1= -	D1= - D2= - R1= - L1= 0.3



DL=825.00

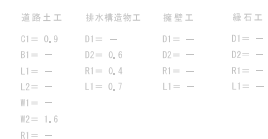
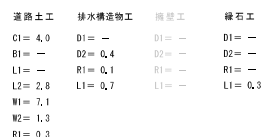
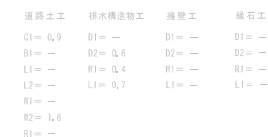
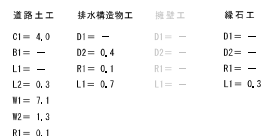
道路土工	排水構造物工	擁壁工	縁石工
C1= 掘削 B1= 路床盛土 L1= 切土法面整形 L2= 盛土法面整形 W1= 歩道不陸修正 W2= 歩道不陸修正 R1= 路肩盛土	D1= 床 埋 D2= 床 埋(掘削) R1= 埋戻し L1= 基面整正	D1= 床 埋 D2= 床 埋(掘削) R1= 埋戻し L1= 基面整正	D1= 床 埋 D2= 床 埋(掘削) R1= 埋戻し L1= 基面整正

* 上水道管・下水道管・ガス管等の地下埋設管の位置・管種については、埋設管理者より貸与の管理図を基に推定位置を記載したものである。

実施図

令和7年度 国庫 交通安全対策補助事業 谷地沢大塚線 (3工区) 道路改良工事	図 示
第 5 / 9 横断図 (2)	縮 尺
町 道 谷 地 沢 大 塚 線	
北 佐 久 郡 御 代 田 町 大 字 児 玉 大 林	
町 長 小 園 金 井 秀 場 原 浩 森 泉	
御 代 田 町	
設計会社 日測設計株式会社	管理技術者
調査会社 日測設計株式会社	調査技術者
測量会社 日測設計株式会社	主任技術者
調査会社	主任技術者

A1 S=1:100
A3 S=1:200



道路土工	排水構造物工	擁壁工	橋石工
C1= 掘 削	D1= 床 堀	D1= 床 堀	D1= 床 堀
B1= 路床保土	D2= 床 堀(掘削)	D2= 床 堀(掘削)	D2= 床 堀(掘削)
L1= 切土法面整形	R1= 埋戻し	R1= 埋戻し	R1= 埋戻し
L2= 盛土法面整形	L1= 基底整正	L1= 基底整正	L1= 基底整正
W1= 不透不陸整正			
W2= 歩道不透不陸整正			
R1= 路肩整正			

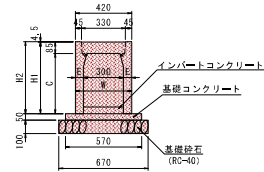
* 上水道管・下水道管・ガス管等の地下埋設管の位置・管種については、埋設管理者より貸与の管理図を基に推定位置を記載したものである。

令和7年度 国土交通安全対策補助事業 各地域大規模（3工区）道路改良工事						
番号	6 / a			横断間（3）	縦尺	図号
町道 谷地沢大塚線						
北佐久郡御代町大字元室 大林						
町長	小間	課長	金井	調査	地庫	設計
御		代		町		
設計会社	日測設計株式会社			管理技術者		
				調査技術者		
測量設計	日測設計株式会社			主任技術者		
調査会社				主任技術者		

構 造 図

防音型自由勾配側溝
縦断面

A1 : 1/20
A3 : 1/40



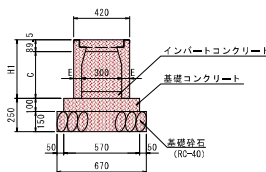
自由勾配側溝(縦断面)数量表

側溝高 (H)	W	C	E	h	H1	H2	参考質量	基礎コンクリート	基礎砕石	型 枠
300	420	350	60	-	435	440	318	0.29	6.70	1.00
400	420	450	60	-	535	540	376	0.29	6.70	1.00
500	420	550	60	-	635	640	434	0.29	6.70	1.00
600	420	650	60	-	735	740	492	0.29	6.70	1.00

注) 基礎工の寸法及び数量は、いずれも参考値です。
注) 製品重量は、製品長 L=2.0m (標準品) の重量です。

横断面自由勾配側溝
横断面 B300×H300

A1 : 1/20
A3 : 1/40



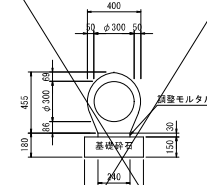
自由勾配側溝(横断面)数量表

側溝高 (H)	W	C	E	h	H1	H2	参考質量	基礎コンクリート	基礎砕石	型 枠
300	420	350	60	-	440	440	340	0.57	6.70	2.00

注) 基礎工の寸法及び数量は、いずれも参考値です。
注) 製品重量は、製品長 L=2.0m (標準品) の重量です。

台付管φ300

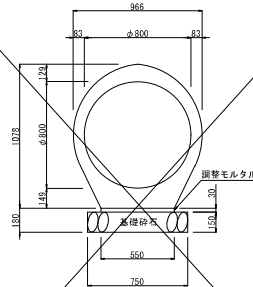
A1 : 1/20
A3 : 1/40



種 別	規 格	単位	数 量
パイコン台付管	VP-300	個	5.0
調整モルタル	1 : 3	m ³	0.07
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m ²	4.4
備 考	参考重量 (L=2.0m)・・・368kg		

台付管φ800

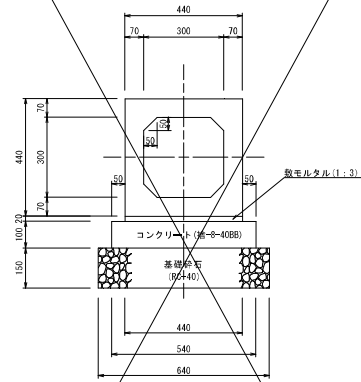
A1 : 1/20
A3 : 1/40



種 別	規 格	単位	数 量
パイコン台付管	VP-800	個	4.0
調整モルタル	1 : 3	m ³	0.17
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m ²	7.5
備 考	参考重量 (L=2.5m)・・・1994kg		

BOXカルバート
300×300

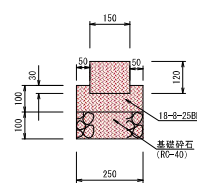
A1 : 1/10
A3 : 1/20



種 別	規 格	単位	数 量
ボックスカルバート	300×300	個	5.0
コンクリート	推-0-40RB	m ³	0.54
基礎砕石	RC-40	m ²	6.4
型 枠		m ²	2.0
敷モルタル	1 : 3	m ³	0.09
備 考			

地先境界ブロック
(B 種)

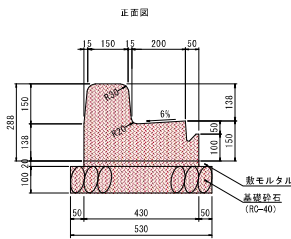
A1 : 1/10
A3 : 1/20



種 別	規 格	単位	数 量
地先境界ブロック	A種 L=2000	個	16.5
コンクリート	18-0-25RB	m ³	0.21
型 枠		m ²	2.0
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m ²	2.5
備 考			

L型側溝(防草タイプ)
両R-A

A1 : 1/10
A3 : 1/20

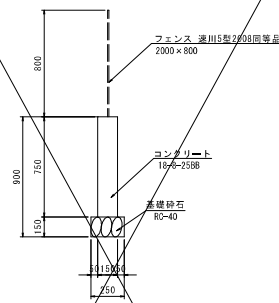


種 別	規 格	単位	数 量
L型側溝(防草タイプ)	A種 L=2000	個	4.95
調整モルタル	1 : 3	m ³	0.09
基礎砕石	RC-40 t=10cm	m ²	5.3
備 考			

※一部L=600使用 16.5個/10m

人止柵基礎

A1 : 1/20
A3 : 1/40



種 別	規 格	単位	数 量
人止柵基礎	18-0-25RB	m ³	1.13
コンクリート		m ²	12.0
基礎砕石	RC-40 t=15cm	m ²	2.5
備 考			

実 施 図

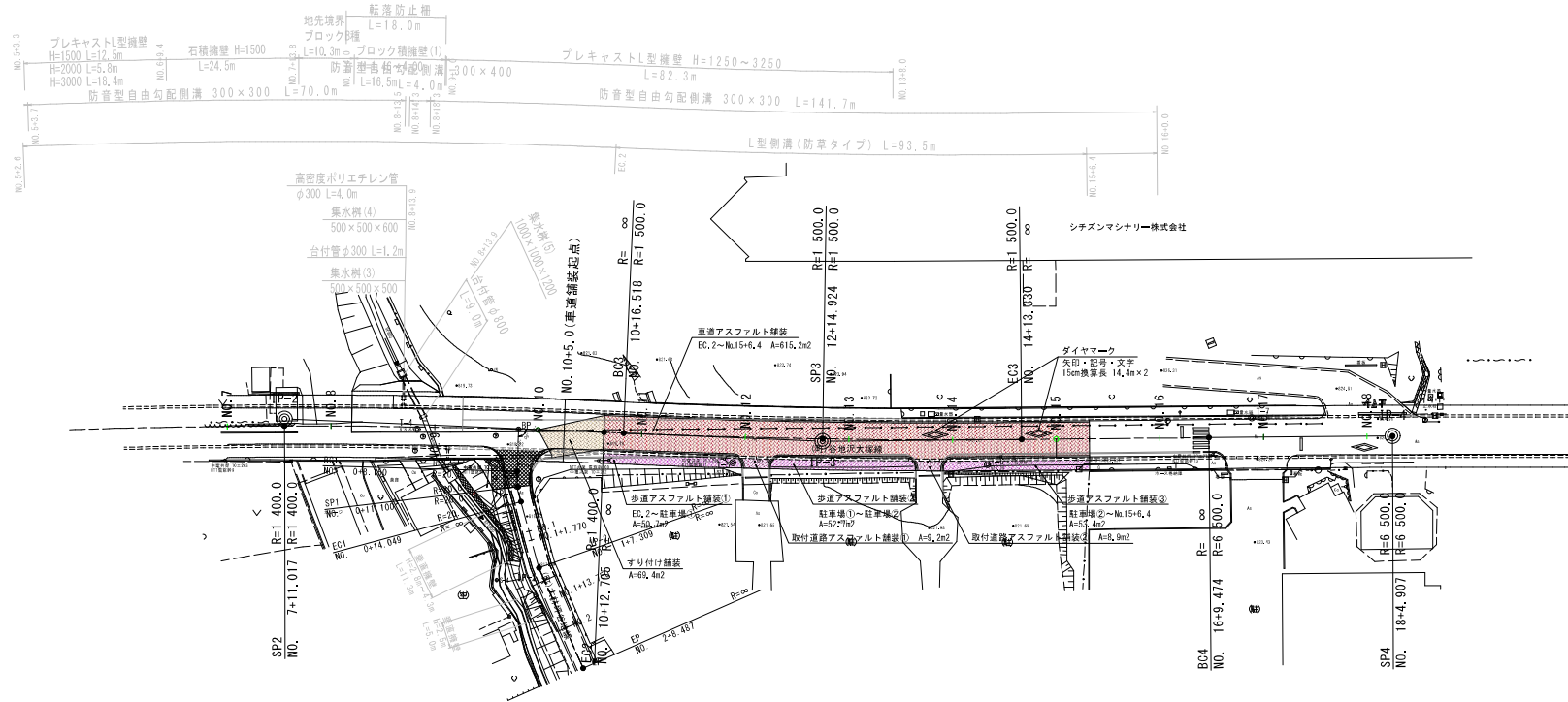
令和7年度 国庫 交通安全対策補助事業 谷地沢大塚線(3工区)道路改良工事			
番号	7/9	構造図	図 示
町道 谷地沢大塚線			
北佐久郡御代田大字児玉 大林			
町長	小 園	課長	金 井
設計者	目測設計株式会社	監理技師	目測設計株式会社
調査技師	目測設計株式会社	主任技師	目測設計株式会社
調査技師	目測設計株式会社	主任技師	目測設計株式会社

舗装面積図

町道 谷地沢大塚線 北佐久郡御代田町児玉 大林

A1:1/500

A3:1/1000



本線車道舗装			
種別	規格	計算式	数量(m2)
表層	再生密粒度アスコン20F t=5cm	A=615,2 (CAD計測による)	615,2
上層路盤工	粒度調整砕石 M-40 t=12cm	A=615,2 (CAD計測による)	615,2
下層路盤工	再生クラッシャーラン RC40-0 t=20cm	A=615,2 (CAD計測による)	615,2
凍上抑制層	再生クラッシャーラン RC40-0 t=15cm	A=615,2 (CAD計測による)	615,2

本線歩道舗装			
種別	規格	計算式	数量(m2)
表層	再生粗粒度アスコン13 t=3cm	A=50,7+52,7+53,4+156,8 (CAD計測による)	156,8
路盤工	再生クラッシャーラン RC40-0 t=10cm	A=50,7+52,7+53,4+156,8 (CAD計測による)	156,8
凍上抑制層	再生クラッシャーラン RC40-0 t=15cm	A=50,7+52,7+53,4+156,8 (CAD計測による)	156,8

取付道路舗装			
種別	規格	計算式	数量(m2)
表層	再生密粒度アスコン20F t=5cm	A=9,2+8,9=18,1 (CAD計測による)	18,1
上層路盤工	粒度調整砕石 M-40 t=12cm	A=9,2+8,9=18,1 (CAD計測による)	18,1
下層路盤工	再生クラッシャーラン RC40-0 t=20cm	A=9,2+8,9=18,1 (CAD計測による)	18,1
凍上抑制層	再生クラッシャーラン RC40-0 t=15cm	A=9,2+8,9=18,1 (CAD計測による)	18,1

すり付け舗装			
種別	規格	計算式	数量(m2)
表層	再生粗粒度アスコン20 t=4cm	A=69,4 (CAD計測による)	69,4
路盤工	再生クラッシャーラン RC40-0 t=10cm	A=69,4 (CAD計測による)	69,4

区画線工			
種別	規格	計算式	数量(m)
道路中心線	破線・白線(W=15cm) 加熱ベイント式	L=3,81+76,81+13,07+93,7 (CAD計測による)	93,7
外側線	実線・白線(W=15cm) 加熱ベイント式	L=93,5+28,4+31,2+28,9=183,0 (CAD計測による)	183,0
ダイヤモンド	矢印・記号・文字 滑融式	L=14,4×2=28,8 (15cm換算長)	28,8

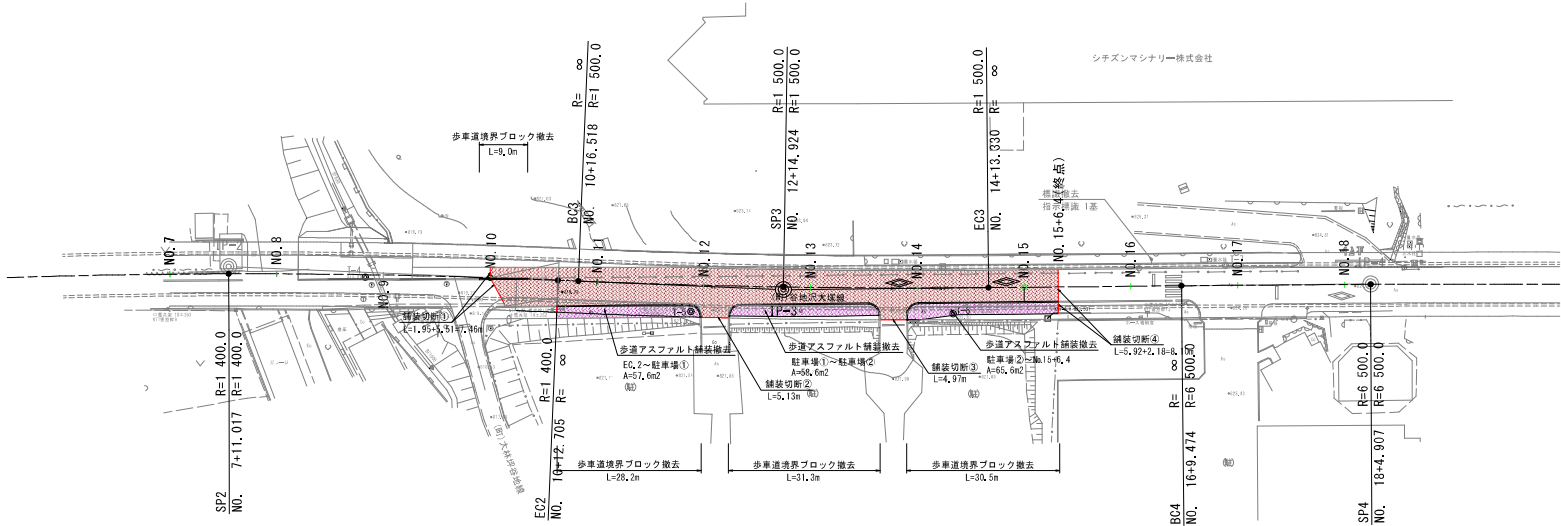
点名	Y座標	X座標	備考
御墓1-223	34559,578	1543,978	※直線水準
御墓3-339	34761,506	1076,357	※直線水準
1-1	34772,795	1092,839	※直線水準
1-2	34751,954	1140,116	※直線水準
1-3	34732,037	1194,040	※直線水準
1-4	34798,866	1241,761	※直線水準
1-5	34676,413	1294,217	※直線水準
1-6	34657,299	1338,543	※直線水準
1-7	34644,337	1385,515	※直線水準
1-8	34615,308	1430,998	※直線水準
1-9	34597,693	1489,861	※直線水準

実施図

令和7年度 国庫 交通安全対策補助事業 谷地沢大塚線(3工区)道路改良工事			
番号	8/9	舗装面積図	縮尺 図示
町道 谷地沢大塚線			
北佐久郡御代田町大字児玉 大林			
町長	小園 貴	副町長	金井 孝
御代田町		管理技術者	目測設計株式会社
調査技術者		目測設計株式会社	目測設計株式会社
調査技術者		目測設計株式会社	目測設計株式会社
調査技術者		目測設計株式会社	目測設計株式会社

撤去平面図 A1:1/500
A3:1/1000

町道 谷地沢大塚線 北佐久郡御代田町児玉 大林



歩車道境界ブロック
撤去延長 9.0+28.2+31.3+30.5=99.0m
A=0.11m2

アスファルト切断
L=7.46+5.13+4.97+8.10=25.7m
車道アスファルト舗装撤去
A=82.60+636.07=718.7m2
歩道アスファルト舗装撤去
A=57.6+58.6+65.6=181.8m2

撤去構造物集計表						
名 称	規 格	撤去数量	単 位	計 算 式	体積 (m3)	重量 (t)
歩車道境界ブロック		99.0	m	$99.0 \times 0.11 = 10.89$	10.9	27.2
				2次製品 合計	10.9	27.2
アスファルト切断	15cm以下	25.7	m			
車道アスファルト舗装撤去	表層5cm	718.7	m ²	$718.7 \times 0.05 = 35.94$	35.9	84.5
歩道アスファルト舗装撤去	表層3cm	181.8	m ²	$181.8 \times 0.03 = 5.45$	5.5	11.7
合計		900.5	m ²	アスファルト 合計	41.4	96.2

実 施 図

令和7年度 国庫 交通安全対策補助事業 谷地沢大塚線 (3工区) 道路改良工事					
番 号	9/9	撤去平面図	縮 尺	図 示	
町道 谷地沢大塚線					
北佐久郡御代田町大字児玉 大林					
町 長	小 園	課 長	金 井	副 課 長	坂 本
御 代 田 町			管 理 技 術 者		
設計会社			目測設計株式会社	照査技術者	
測量会社			目測設計株式会社	主任技術者	
調査会社				主任技術者	